

部局名	健康福祉部	所属名	児童発達支援センター	所属長名	久保 則子	電 話	488-1111
-----	-------	-----	------------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4028		事務事業名称	障害児（者）相談支援事業					短縮コード	経常	4028	臨時	4029
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	心身障害児通園施設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		千葉県障害児（者）相談支援事業実施要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
在宅の障害児及びその家族が、地域の中で自立した生活が送れるように支援することを目的とした障害児（者）地域療育等支援事業を受託（平成8年5月国実施）し、事業を開始した。（平成17度より千葉県障害児（者）相談支援事業と事業名称変更）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
社会状況の変化により、子育てに不安を抱える保護者が増加し、それに伴い相談数も増加している。その解決として早期発見・早期療育の充実が求められており、在宅の障害児及びその家族へのなお一層の支援が必要だと考えている。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	03	障害者（児）福祉						
					小項目（施策）	01	障害の発生予防・早期受診、治療						
						02	障害者（児）保健福祉サービスの充実						
					細 項 目	03	治療・療育体制の充実						
						01	相談・支援体制の充実						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	発達に遅れ, 心配のある児童。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 地域での生活支援。療育の実施。相談業務。 ○発達に遅れ, 心配のある児童：①相談②外来療育（少人数7グループ）③保育園等施設支援④機能訓練⑤家庭巡回指導							
	※平成23年度に計画していること： 同上							
意図 （何を狙っているのか）	発達に心配, 遅れのある児童に対して：①発達の心配・遅れに対応する内容を明確にし, 適切な療育サービスに結びつける。②必要な外来療育サービスを受けることが出来る。③保育園等施設で児童発達支援センターのスタッフの支援を通じて, 各施設が提供する保育等の当該児童が必要とする適切なサービス。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	他機関を通して相談のために来所した延べ児童	人	668	600	668	600	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	外来療育の延べ回数	回	763	700	763	700	
	指標 2	機能訓練を受けた実施延べ回数	回	1,109	1,000	1,109	1,000	
	指標 3	巡回相談の延べ回数	回	138	150	123	150	
成果指標	指標 1	外来療育を受けた, 発達に心配・遅れのある児童	人	763	700	763	700	
	指標 2	機能訓練を受けた児童	人	1,109	1,000	1,109	1,000	
	指標 3	巡回相談を受けた児童	人	123	150	123	150	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4028	事務事業名称	障害児（者）相談支援事業				所属名	児童発達支援センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			センター機能と相談体制が円滑に行えるよう、「個別訓練室」と「ことばと発達の相談室」を児童発達支援センターの同施設内に配置し、相談支援体制の充実を図る必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			同施設内に、「個別訓練室」と「ことばと発達の相談室」を配置するためには、新たな施設を建設する必要がある。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
障害児の家庭から機能訓練・外来療育サービスの提供回数を増やして欲しいとの希望がある。									

所属長コメント	発達に問題を抱えた子どもとその家庭が地域で安心して生活していけるよう、相談支援体制の充実を図るため施設整備，専門職員の配置及び専門職員の専門性の向上について検討していく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			障害児（者）相談支援を含めた児童発達支援センターのあり方について検討すること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									